

令和5年度北中学校区小中一貫教育グランドデザイン

北中学校区小中一貫の教育目標

夢をもち 心豊かに輝く 北斗の若星

～すべては、子どもたちの笑顔のために～

【基本理念】
未来を担う子どもの夢を実現するために、北中学校区小中学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一丸となって子どもの教育に向き合う。

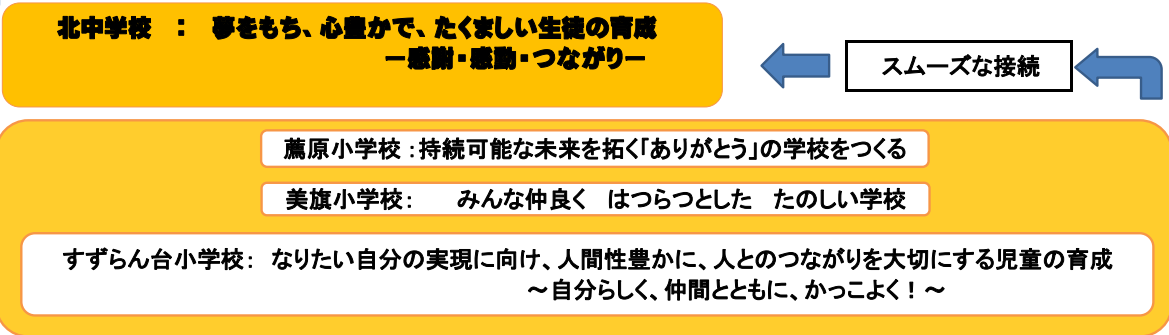
【基本方針】
教職員の超過勤務等による健康上の問題が危惧される中、新しい事業を増やすことよりも、多様な主体の協働により教育効果を上げることを目指す。
そのためには、小中学校の教職員が中学校3年生の姿を実際に見て、課題を共有すること、明確な目標に向けてベクトルを合わせて取り組むことを大切にする。
また、一つひとつの行事や授業等の「ねらい」を明らかにし、「めあて」に対しての「振り返り」をし、PDCAサイクルを回していくことを大切にする。

名張市

【めざす子ども像】	夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ばりっ子」
【育みたい力】	〔夢を実現する力〕〔社会を拓く力〕
【主な基本目標と主な取組】	1 確かな学力の育成 ・学力の向上 ・特別支援教育の推進 ・キャリア教育の充実 2 豊かな人間性の醸成 ・人権・同和教育、道徳教育の推進 ・ふるさと学習「なばり学」の推進 ・SDGsを実現するための教育の推進 3 健やかな体の育成 ・健康教育の推進 ・体力の向上 ・食育の推進

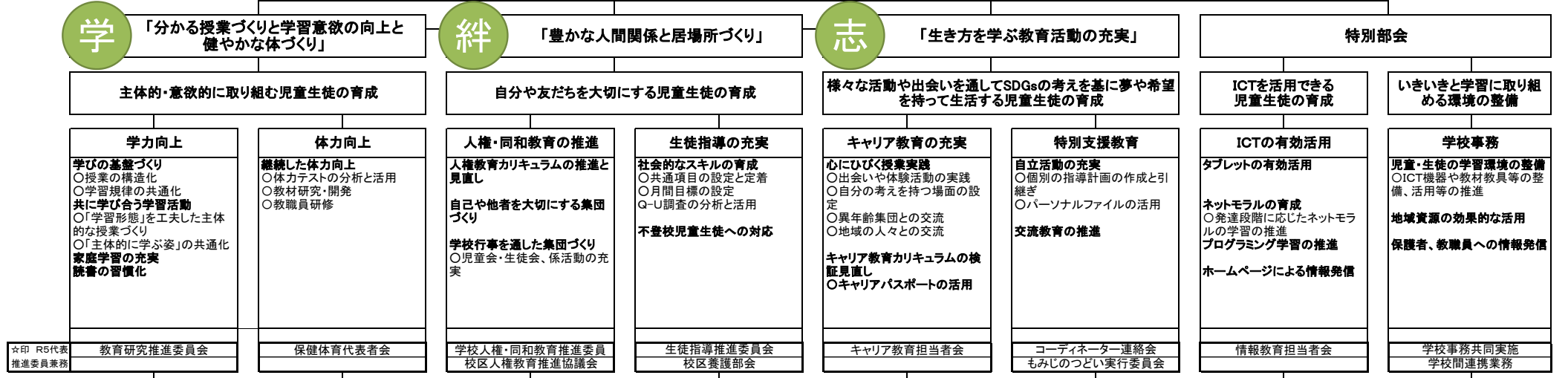
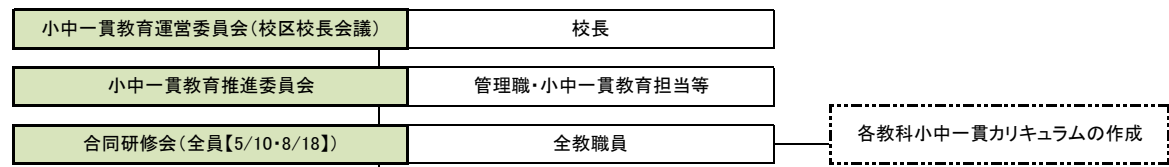
北中学校区

〈めざす子ども像〉
互いに認め合う仲間と共に行動し、学ぶ喜びや有用感をもつことができる子どもの育成

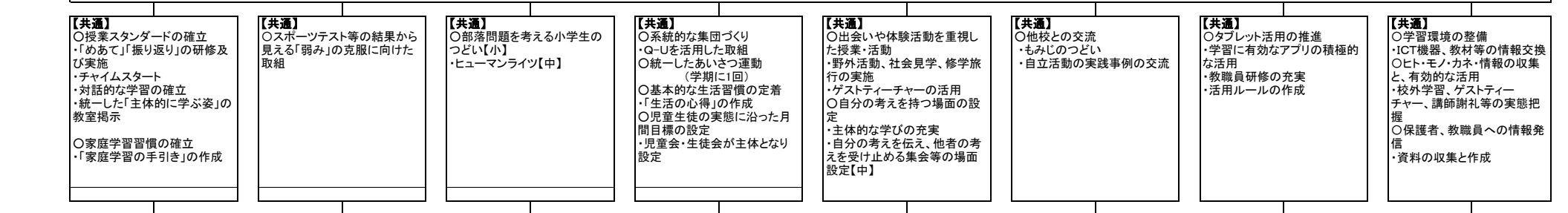


北中学校区児童生徒の実態と課題

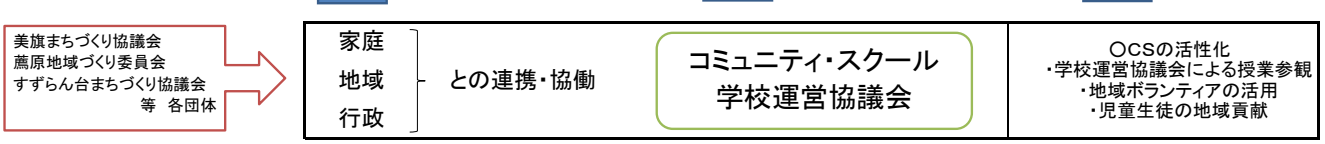
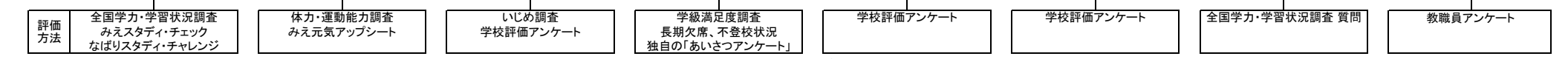
- 一人ひとりは、素直な児童生徒である。同じ価値観をもつ児童生徒の集団はできているが、そこからの広がりがなく固定化している。また、人間関係も希薄で、違った価値観にであったときに、受け入れることや折り合いをつけることが難しい。
- 自己肯定感や自己有用感が低く、自信をもてない場面が多く見受けられる。
- 学習面では、与えられた課題には、真面目に向き合うことができているが、基礎基本の学力が定着していないため、粘り強くやりとげることができにくい。また、指示待ちの場面も多く見受けられ、主体的に学ぼうとする姿勢には弱さがみられる。
- 生活や学習の規律面では、整ってきてはいるが、より良く生活しようとする意欲が低い。
- 将来に見通しをもち、今の自分を原点にした「なりたい自分」のイメージがもてていないため、今の楽しみに流されてしまっている児童生徒もいる。
- 不登校児童生徒が一定数いる。各校で取組は進めているが、成果が表れにくい現状にある。



本年度の具体的な取組 [各小中学校]



学校評価アンケート(統一様式の活用、経年変化の選別)



令和5年度の検討事項 中学校合唱コンクール実施及び見学・乗り入れ授業・出前授業の検討

